日農スミレックス水和剤

[プロシミドン水和剤]

農林水産省登録　第14500号

有効成分

プロシミドン…50.0%

性　　状　類白色水和性粉末　63μm以下

安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）　危険物：-　有効年限：5年　包装：100g×100、500g×20　商標： スミレックス®は住友化学（株）の登録商標です。 RACコード：殺菌[2]

特長

- 予防効果に優れ、高い防除効果が長期間にわたり持続する。
- 植物体への浸透移行性を有するため、降雨の影響を受け難く安定した効果を発揮する。
- 感染初期の散布により、病斑進展阻止効果を発揮する。

効果、薬害等に関する注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 散布液調製後はそのまま放置せずできるだけ速やかに散布する。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液など強アルカリ性薬剤との混用はさける。
- 水溶性内袋入りの製剤を使用する場合は、次の事項に注意する。
  1)内袋はぬれた手で触れない。
  2)外袋の開封後は一度に使い切ることが望ましい。やむを得ず保管する場合でも、できるだけ速やかに使い切る。
  3)薬液調製の際は、容器内の水に内袋を開封せずそのまま投入し、よく撹拌する。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守る。
  1)散布は各散布機種の散布基準に従って実施する。
  2)散布機種に適合した散布装置を使用する。
  3)散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行う。
- 定植直後又は幼苗、軟弱苗等には薬害を生ずるおそれがあるので、使用はさける。
- 高温時の散布は薬害を生ずる場合があるので注意する。
- トマトは薬害を生じやすいので、下記の注意事項を厳守する。
  1)次の条件の場合は使用しない。
    a)生育が一時停止するような低温にさらされることがある栽培をしている場合。
    b)軟弱徒長気味な栽培となっている場合。
    c)微量要素欠乏又はその疑いのある場合。
    d)高温多湿条件の場合。
  2)使用する場合は次の注意を守る。
    a)有機リン剤との混用はさける。
    b)散布液はできるだけ所定範囲内の低濃度（2000倍液）で使用する。
    c)所定の薬量を厳守し、薬量過剰にならないようにする。
    d)くり返し使用する場合は散布間隔を十分（14日以上）あける。
- あぶらな科作物（特に白菜、だいこん、ストック）には薬害を生ずるおそれがあるので付近にある場合にはかからないように注意して散布する。

2022年2月25日現在の登録内容
（2022年2月25日 新規登録または登録変更）

- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤と組合わせて輪番で使用する。
- キャベツに使用する場合は、薬液がかかった葉に極く微小な薬斑を生ずることがあるので、使用濃度を厳守する。
- ハウス等の常温煙霧用として使用する場合は特に次の事項に注意する。
  1)専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧する。特に常温煙霧装置の選定及び使用にあたっては、病害虫防除所等関係機関の指導を受ける。
  2)作業はできるだけ夕刻行い、作業終了後6時間以上密閉しておく。できれば翌朝までそのままとし、開放後十分換気して入室する。

安全使用上の注意事項

- 眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン長袖の作業衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼する。
- 常温煙霧においては、薬剤処理中はハウス内に入らない。また、薬剤処理終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室する。

水産動植物に対する注意事項

- 浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

適用内容

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロシミドンを含む農薬の総使用回数
りんご	モニリア病	1000倍	200～700ℓ/10a	収穫90日前まで	4回以内	散布	4回以内
かんきつ（みかんを除く）	灰色かび病	1500～3000倍		収穫30日前まで	2回以内		2回以内
みかん					3回以内		3回以内
もも	灰星病	1000～1500倍		収穫3日前まで			
すもも		1000～2000倍		収穫14日前まで	1回		1回
おうとう		1000～1500倍			3回以内		3回以内
あんず		1500倍					
びわ	灰色かび病	1000～2000倍		収穫前日まで			
マンゴー	軸腐病	1000倍		収穫21日前まで			
小麦	雪腐大粒菌核病		60～150ℓ/10a	収穫75日前まで	2回以内		2回以内
ばれいしょ	菌核病	1000～1500倍	100～300ℓ/10a	収穫21日前まで	4回以内		4回以内
だいず		1000～2000倍					
あずき	灰色かび病	1000倍			2回以内		2回以内
らっかせい	灰色かび病 汚斑病	1000～2000倍			4回以内		4回以内
いんげんまめ	菌核病 灰色かび病				2回以内		2回以内
きゅうり	つる枯病	1000倍		収穫前日まで	6回以内		6回以内 (常温煙霧は2回以内)
	菌核病 灰色かび病	1000～2000倍					
すいか	菌核病			収穫7日前まで	5回以内		5回以内
	つる枯病	1000倍					
メロン	菌核病	2000倍		収穫前日まで	3回以内		3回以内
かぼちゃ		1000～2000倍		収穫14日前まで			
ズッキーニ				収穫前日まで	6回以内		6回以内
トマト	灰色かび病				3回以内		3回以内
なす	菌核病 灰色かび病				6回以内		6回以内

2022年2月25日現在の登録内容
（2022年2月25日 新規登録または登録変更）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロシミドンを含む農薬の総使用回数
ピーマン	黒枯病	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	5回以内	散布	5回以内
	菌核病 灰色かび病	1000～2000倍					
ししとう	黒枯病	5000倍					
キャベツ	菌核病	2000～3000倍		収穫14日前まで	4回以内		4回以内
レタス	菌核病 灰色かび病	1000～2000倍		収穫7日前まで	5回以内		5回以内
ねぎ	小菌核腐敗病 黒腐菌核病	1000倍		収穫21日前まで	3回以内	株元散布	3回以内
たまねぎ	灰色腐敗病 灰色かび病 小菌核病			収穫前日まで	5回以内	散布	5回以内
	灰色かび病	16倍	2.4ℓ/10a			無人航空機による散布	
にんにく	黒腐菌核病	種球重量の0.4%	-	植付前	1回	種球粉衣 (湿粉衣)	1回
いちご	灰色かび病 菌核病	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
食用へちま	菌核病				2回以内		2回以内
とうがん				収穫7日前まで			
にんじん		1500倍		収穫30日前まで	1回		1回
たばこ		1000～2000倍	200mℓ/株	大土寄時		株元灌注	
リアトリス		1000倍	-	種茎冷蔵保存前		30分間種茎浸漬	

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロシミドンを含む農薬の総使用回数
きゅうり	温室、ビニールハウス等密閉できる場所	灰色かび病	200g/10a	10ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	常温煙霧	6回以内 (常温煙霧は2回以内)
なす			250g/10a	5ℓ/10a		6回以内		6回以内

製品写真

最新の登録内容はこちら